

・今回ファシリテーターを務めてくれた方は、10プロの中での出来事を基に、ミーティングの限られた時間の中で、どう話を進めれば効果的かを考えて、ミーティングを進めてくれました。

最初のフィードバックではメンバーの野生ポストでのコメントの背景を突っ込んで聞いていることが印象に残りました。

私は人生における失敗の回数が少ないから重く受け止めてしまうのかなと思ったのですが、もっと深い、周りの人との関係性に根差しているということにも触れられたので、オフ会でもっと話したいと思いました。

その他にも10年プロジェクトでのやり取りを丁寧に拾いながら、お互いに背景にある心理を分析し合ったのもよかったと思います。

8月はこのミーティングまでに2回のオフ会が開催されて、いつもよりも多く対面で話す機会が持てた月でした。

自分の参加が叶わなかった会で、ゲストもいて盛り上がっていたように思っていた会に対して、陽子さんから重要な疑問が提示されていて、一体どうなっていたのだろうと気になっていたのです。

2回とも参加してくれたゲストの方は、1回目で成し遂げられなかった思いをバネに前のめりな気持ちで2回目のオフ会に参加してくれていたことを陽子さんから聞いて知りました。

オンラインでのつながりが主体のメンバーに会う時に、若手の熱意と同じ位の熱量を持てているか？ということの思い返すのと同時に、陽子さんから指摘のあった、若手の見本

になるような先輩の姿を自分は見せられているか、ということも自分が日々意識しなければいけない点だと思いました。

合宿の内容について話し合った時に、陽子さんから披露されたアイディアは、陽子さんがこれまで受けられたセミナーからもヒントを得た、ワクワクするものでした。

これから10年プロジェクトで進めようとしている広報活動も合宿の企画にリンクしてくると思いました。

同時にオンラインコミュニティだからこそ、物事を進めていくことの難しさも感じたので、合宿も含めて貴重なオフラインの機会も活かしながらこのコミュニティが進化していく方向に持って行きたいとも思いました。

(A.S 40代女性 北海道)